

114
A 2583
2

明治三十年七月十五日配付

衆議院議員選舉取締三關之罰則件

大正十一年四月

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條ニ依リ衆議院議員選舉取締ニ關スル罰則ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

年月日

各大臣

勅令第

號

第一條

此ノ勅令ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シ之ヲ適用ス

第二條

選舉人議員候補者及選舉運動者ニシテ銃砲槍戟刀劍竹槍棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ携帶シタル者ハ十一日以上二

年以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ物件ヲ沒收ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

第三條 選舉ニ關シ其ノ前後ヲ問ハ

ズ左ノ各號ニ該當スル行為アル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ其ノ收受者又ハ受諾者ニシテ選舉當日後二十日以内ニ自首シタル者ハ其ノ罪ヲ論セズ
一 直接又ハ間接ニ金錢物品手形其

ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選
舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又
ハ供與センコトヲ申込ミタル者
又ハ供與若ハ申込ヲ承諾センコ
トヲ周旋勸誘シタル者並ニ之ヲ
受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二酒食遊覽等其ノ方法及名義ノ何

タルヲ問ハズ人ヲ饗應接待シ又
ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選
舉會場若ハ投票所ニ往復スル為
船車馬ノ類ヲ給シ及其ノ供給ヲ
受ケタル者又ハ旅費若ハ休泊料
ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ受ケ
タル者並ニ此等ノ約束ヲ為シ又

ハ約束ヲ受ケタル者

三選舉人又ハ其ノ關係アル社寺學校會社組合市町村等ニ對スル用水小作債權寄付等其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應ヒタル者

第四條

左ノ各號ニ該當スル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

一 選舉ニ關シ選舉人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

二 選舉人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐偽ノ手段ヲ以テ選舉權ノ

行使ヲ妨害シタル者

三 選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺學校會社組合市町村等ニ對スル用水小作債權具ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼シタル者

第五條 當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ

演說又ハ新聞紙雜誌引札張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス被選舉人ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ新聞紙雜誌ニ在テハ其ノ署名シタル編輯人ヲ處

断ス

第六條 本令ノ罰則ニ觸レ刑ニ處セ
ラレタル者ノ投票ハ其ノ處罰ノ投
票當日後ニ條ルモノト雖之ヲ無効
トス但シ投票當日後ノ行為ニ條リ
處罰ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラ
ス

第三條ニ依リ自首シタル場合ニ於
テモ亦前項ノ例ニ依ル

第七條 本令ニ依リ刑ニ處セラレタ
ル者ニ關シテハ衆議院議員選舉法

第九十九條第一百一條ノ例ニ依ル

第八條 本令ニ依ル犯罪ノ時効ニ付
テハ衆議院議員選舉法第一百四條ノ

例ニ依ル

第九條 法律命令ノ規程ニシテ本令

ニ抵触スルモノハ總テ本令ニ依ル

第十條 本令ハ發布ノ當日ヨリ之ヲ

施行ス

114
A 2583
3

参照

○衆議院議員選挙法

明治廿二年二月
法律第三号

第九十九條 當選人ニ於テ第九十九條ヨリ第九十八條ニ至ルコトノ刑ニ處セラレタルト

キハ其ノ當選ハ無効トス

第一百條 前數條ノ罪ヲ犯シ禁錮以上ノ刑ニ

處セラレ又ハ再ヒ罰金ノ刑ニ處セラレタル

者ハ三年以上七年以下選挙権及被選挙権ヲ

停止ス

第四百四條 凡ソ選挙ニ関ル犯罪ハ六月ヲ以

大正十一年四月

ヲ期滿免除トス

○刀劍銃砲槍戟仕込刀劍仕込銃竹槍棍棒具

他人ヲ殺傷スルニ足ル物件携帶禁止ニ関

スル件 明治三十一年二月

第一條 法律ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ノ

送奉ニ関シ運動スル者ハ刀劍銃砲槍戟仕込

刀劍仕込銃竹槍棍棒具他人ヲ殺傷スルニ足

ル物件ヲ携帶スルコトヲ禁ス

憲兵又ハ警察官ハ前項ノ禁ヲ犯シタリト認

ムル者ニ對シ其ノ物件ヲ押収スヘシ

第二條 前條第一項ノ禁ヲ犯シタル者ハ十一

日以上二年以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上二百

圓以下ノ罰金ニ處シ其物件ヲ沒收ス

前項ノ犯罪ハ衆議院議員送奉法第百四條ノ

例ニ依ル

114
A 2589
4

明治三十一年七月十五日 配付

要塞近傍ニ於ケル水陸測量等
取締ニ關スル勅令案

勅令第 號

第一條 要塞ニ於ケル各防禦營造物

ノ周圍ヨリ外方五千七百五十間以
内ノ水陸ノ形狀ヲ測量摸寫撮影筆
記セムトスル者ハ豫メ當該要塞司
令官ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ區域内ヲ明治二十二年法律

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

第十九號土地收用法第五條若ハ第
七條ニ依リ測量又ハ検査セムトス
ル者若ハ明治二十三年法律第八十
七號鑛業條例第四十七條ニ依リ測
量セムトスル者ハ豫メ當該要塞司
令官ニ届出ヘシ

前二項ノ場合ニ於テ測量、摸寫、撮影、

筆記ヲ為スノ方法區域ハ當該要塞
司令官ノ指示ニ從フヘシ

第二條 官廳ニ於テ前條第一項ノ區
域内ノ水陸ノ形狀ヲ測量、摸寫、撮影、
筆記セムトスルトキハ豫メ當該要
塞司令官ノ承認ヲ受クヘシ
官廳ニ於テ前條第一項ノ區域内ヲ

明治二十二年法律第十九號土地收
用法第五條若ハ第七條ニ依リ測量
又ハ検査セムトスルトキハ豫メ當
該要塞司令官ニ通知スヘシ
前二項ノ場合ニ於テ測量、模寫、攝影、
筆記ヲ為スノ方法區域ハ當該要塞
司令官ト協議シテ之ヲ定ムヘシ

第三條 前二條ノ規定ハ要塞ノ設テ
シト雖之ヲ設クルコトニ決定シタ
ル箇所ニ於テ其ノ豫定各防禦營造
物ノ周圍ヨリ外方五千七百五十間
以内ノ水陸ノ形狀ヲ測量、模寫、攝影、
筆記スル場合ニモ之ヲ適用ス

第四條 第一條第一項及第三條ノ區

域ハ陸軍大臣之ヲ告示ス

第五條 第一條各項ニ違犯シタル者

ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮又ハ
二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條ニ依リ第一條ヲ適用スル場
合ニ於テ其ノ各項ニ違犯シタル者
亦同シ

第六條 第一條第一項及第三條ノ區

域ヲ表示スル爲ニ設ケタル標石標
木若ハ標札ノ類ヲ移轉シ若ハ毀壞
シタル者ハ十一日以上二月以下ノ
重禁錮又ハ二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス其ノ過失ニ出テタル者
ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科

料ニ處ス

附則

第七條 第一條第二條第三條ノ規定

ハ第四條ニ依リ陸軍大臣ノ告示シ

タル箇所ニ限り之ヲ適用ス

第八條 本令ニ規定スル要塞司令官

ノ職務ハ警備隊ヲ置キタル箇所ニ

在リテハ警備隊司令官其ノ他要塞司

令官在ラザル箇所ニ在リテハ其ノ

地ノ衛戍司令官(衛戍司令官在ラザル

部)之ヲ行フ

第九條 軍港要港規則ニ特ニ禁令ア

ル事項ニ關シテハ本令ノ規定ヲ適

用スルノ限ニ在ラス

第十條 本令ハ陸海軍官憲ニ於テ行

フ測量、模寫、撮影、筆記ニ適用セズ

参照

○土地收用法

明治二十二年七月
法律第十九号

第五條 工事ノ認定ヲ得タル後起業者ハ工事

準備ノ為メ其土地ニ立入測量又ハ検査ヲ為

スコトヲ得

第六條 前條ノ場合ニ於テハ起業者ヨリ工事

準備ノ為メ立入ルヘキ場所及期日ヲ豫メ其

地ノ市町村長及各所有者ニ通知スヘシ但準

備ノ為メニ生スル所ノ損失ハ起業者之ヲ補

償スヘシ

若シ補償ニ付協議調ハサルトキハ市町村長
一名ノ鑑定人ヲ選ヒ立會ハシメ其金額ヲ定
ムヘシ

第七條 工事ノ認定前起業者計畫準備ノ為メ
其土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ為スノ必要
アル場合ニ於テハ豫メ地方長官ノ認可ヲ受
クヘシ但政府ノ起業ニ係ルトキハ主務大臣
ヨリ豫メ地方長官ニ通知スヘシ
地方長官前項ノ認可ヲ為シ又ハ通知ヲ受ケ
タルトキハ其旨ヲ告示シ又ハ土地所有者及

關係人ニ通知スヘシ

起業者本條第一項ノ測量又ハ検査ヲ為スト
キハ其場所及期日ヲ各所有者ニ通知スヘシ
但損失ヲ補償スルトキハ前條ノ例ニ依ル

○鑛業條例

明治二十三年七月
法律第八十七号

第四十七條 試掘又ハ採掘ヲ出願スル為他人
ノ土地ヲ測量スルコトヲ必要トスルトキハ
所轄鑛山監督署ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合
ニ於テハ其ノ土地ノ所有者又ハ關係人ハ之

ヲ拒ムコトヲ得ス若シ測量ノ爲ニ損害ヲ生
シタルトキハ其ノ測量ヲ請求シタル者ニ於
テ之ヲ賠償スヘシ

測量請求者他人ノ所有地ニ入ルトキハ豫メ
其ノ土地所有者ニ通知シ且測量認可證ヲ携
帶スヘシ

○軍港要港ニ関スル件

明治二十三年一月
法律第二号

軍港要港境内ニ所在ノ人民及出入スル船舶
ハ海軍大臣定ムル所ノ軍港要港規則ニ従フヘ

シ但海軍大臣ニ於テ軍港要港規則ヲ定ムル
トキハ内務大臣農商務大臣ト協議スヘシ

○軍港要港規則違反者處分

明治二十三年九月
法律第八十三号

明治二十三年法律第二号ニ依リ海軍大臣定ム
ル所ノ軍港要港規則ニ違ヒタル者ハ十一日以
上一年以下ノ重禁錮又ハ二圓以上五十圓以下
ノ罰金ニ處ス

○佐世保軍港規則

明治廿三年七月
海軍省令第十号

第十四條

軍港内ニ於テ左ノ工業ヲ起サント
スル者ハ起工ノ前ニ於テ司令長官ノ許可ヲ
受クヘシ但地方官ノ許可ヲ請クヘキモノハ
先ツ其許可ヲ受クヘシ

一 棧橋ヲ架設シ波止場ヲ築造スル事

二 海面ヲ埋立テ海岸ヲ掘鑿シ又ハ海岸ニ

石垣ヲ造ル事

三 道路ヲ開通シ橋梁ヲ架設スル事

四 山岡ヲ掘鑿スル事

五 森林ヲ伐採スル事

第十五條 司令長官ハ前條ニ掲ケル工事軍港
ノ防禦若クハ海軍ノ事業ニ妨害アリト認定
スルトキハ許可ヲ與フヘカラス

第十六條 司令長官ハ許可ヲ與ヘサル工事ヲ
為スモノアルトキハ建築部官員ヲシテ之ヲ
中止セシムヘシ

(吳、横須賀軍港規則同シ)